

手には仕事を、ポケットにはお金を、心には安らぎを

第14期「しごとの学校」

「投資ブーム」の時代です。現在の日本人の年収の中央値は 300 万円台、1 世帯当たりの貯蓄額の中央値は 1000 万円足らずですから、投資によるプラスアルファを求めるのはもちろん分かります。しかし、いわゆる投資は、そもそもリターンがそれほど大きくありません。たとえば、ある不動産投資の物件は「年利 6%」を売りにしています。今の日本は銀行の利率が 0.1%にも満たない超低金利時代にありますので、6%という数字は十分に高利回りであると言えますし、1 億円を投資すれば年間 600 万円のリターンが期待されます。しかし、投資額が 100 万円ならばどうでしょうか？年間利益はわずか 6 万円です。リスクに見合うリターンとは到底思えません。では、どうすればよいのでしょうか。

「投資先」を変えればよいのです。最良の投資先は、株式でも土地でも貴金属でもありません。—自分自身です。

私が塾長を務めるひなみ塾は、テスト対策も受験指導も一切せず、生きる力を育むことに集中特化した私塾です。2006 年の創立からしばらくの間は、「そんなものに親は金を出さないから、ビジネスとして成り立たない」と酷評されました。しかし、行政からの補助金やスポンサーなどに一切頼ることなく、3 年目には赤字体質を脱し、今や塾生数は 280 名を超えています。この経験と実績から、私は「自分への投資」、より具体的には「自分が本当にやりたいプロジェクトへの投資」こそが最良の投資であると確信をもってお伝えできます。そして、そのスタートを切るためのお手伝いをするのが、この「しごとの学校」です。

第13期「しごとの学校」ガイダンス

日 程：2023 年 ① 6 月 11 日(日) ② 6 月 18 日(日) 10:00~12:00

※ ①か②の日程のどちらかをお選び下さい。

講座内容：自分自身への投資とは 修了生のビジネスの紹介 Q&A

対象：どなたでも参加できます(先着 10 名限定、要予約)

申込/問合せ：電話/090-8220-1010 メール/qt@hinami.org (担当ミウラ)

□ ガイダンス、本講座ともオンラインでのご参加も可です。

□ 「教えてママ」主宰 緒方広子さん(修了生)

修了生には、塾長が、何度でも相談に応じて下さいます。加えて、修了後もいつでも講座を受けることが出来、ずっと勉強を続けることが出来ることも、この学校の魅力です。「しごとの学校」に通ってよかったと思うことは、これでよかったのかと揺らいだ時に、それが、お金をもらわなくてもしたいことであるということに自信を持てることです。それが明確になったと事は一生の財産です。3 クラスで始めたプロジェクトも、今では 8 クラスになり、この度、オリジナルのコンテンツの本も出版しました。日々充実しています。これからも、大好きな仕事を一生続けます。

□ 修了後オーストラリアへ 荒木雅子さん(修了生)

「しごとの学校」を修了後は、塾長のアドバイスを受けながら、渡豪の準備を着々と進めました。渡豪後は、帰国もやむなしと、必死に挑んだ試験で合格。その後まさかの取り消し。それからあきらめずに何度もチャレンジし、2016 年 12 月の初旬に全てのアセスメントに無事に合格。こちらで精神科の医師として働ける仮免許証に当たるものを無事取得しました。「しごとの学校」で学んだことはいつも胸にあります。心からやりたいことを仕事にしたい。好きなことを続けたい。その気持ちが、何度でもチャレンジする原動力となりました。「しごとの学校」で1年間、学んだ様々なこと、特に「自分のルーツ」を大事にすることをいつも意識しています。そしていつもの力の 5 倍くらいの勢いでがんばりました。今、オーストラリアでの仕事の足がかりを見つけました。これから数年、このまま頑張り続けたらきっと道が開けると信じています。

※ 講座要項については、裏面をご覧ください。

【 14期 しごとの学校 要項 】

対 象 : 中学生以上 仕事の経験は一切問いません。特に、以下のような方をお待ちしています。

- ◇ 仕事の生産性を上げ、現在のビジネス(自営、勤めを問わず)ブレイクスルーをもたらしたい方。
- ◇ 趣味で身に付けたスキルや取得した資格を仕事に生かしてステップアップしたい方。
- ◇ 自由になる時間を活用してプチビジネスを始めてみたい方。
- ◇ 自分に合ったライフワークをみつけ、それを日々の生きがいにしたい方。
- ◇ 既に自営の仕事やサイドビジネスをしており、更にレベルアップしたい方。
- ◇ 子供に本物のキャリア教育のチャンスを与え、できる限り早く人生設計をスタートさせたい方。

既受講者の職業(受講時): 内科医師・精神科医師・歯科医師・視能訓練士・理学療法士・税理士・会社員・主婦・国家公務員・財団法人職員・法律事務所職員・会計事務所職員・NPO 法人理事・大学職員・小学校教員・農業・花き栽培・大学生・中学生・フリーター・写真家・絵本作家・セレクトショップ経営・工務店経営・食品製造会社経営・建設会社経営・設備会社経営・呉服店経営・画廊経営・ベジタブルマイスター・エステティックサロン経営・ネットワークビジネス・カメラマン・エクササイズ教室経営・SE・アロメインストラクター・ライター・茶道家・輸入レコード販売・私塾経営・ネット販売

定 員 : 10名(お申し込み順)

受講料 : 20万円(税抜き) ※月々20,000円×10回(銀行引き落とし)

会 場 : 「ひなみ塾」熊本市中央区白山3-1-4 ウィンディビル2階 ※以下の地図をご参照ください。

日 程 : 2022年7月1日(日)~2024年5月12日(日)

原則として毎週日曜 10:00~12:00 (計41回~成果発表会含む/詳細はお尋ねください)

申込み/問合せ: 電話 090-8220-1010 メール qt@hinami.org (ミウラ)

H P : <http://www.hinami.org/juku/class/shigoto> (ひなみ塾「しごとの学校」のページ)

概 要 : 「自分に最も合った仕事が、自分とまわりの人々を最も幸せにする」というのが、このクラスの根幹をなす考え方です。よって、学習内容はいわゆる「ビジネススキル」にとどまらず、自分を知り、人間を知ることを重視します。また、講師による講義と受講生のみの実践演習を交互に行い、「わかる」から「できる」へと着実に成長するプログラムです。

□ 修了生のプロジェクトは、立ち上げから継続発展まで、「しごとの学校」が、全面的にバックアップします。

- ◇ 修了後も、オブザーバーとして、「しごとの学校」の講座を無料で受講し、講師の黒川裕一がアドバイザーとなります。
- ◇ 修了生のコミュニティ「しごとcafé」では、勉強会や、修了生が講師となるイベントを行います。
- ◇ 出資希望者はいつでも審査を受けることができ、審査を通過したプロジェクトは出資を得ることができます。



講師略歴 「ひなみ塾」塾長 黒川裕一

1972年生まれ。熊本市出身。8歳で空手道をはじめ、中学生時より田上政幸師範のもとで指導員を務める。東京大学法学部卒業後、22歳で映画監督を目指し渡米。インディ系の映画製作に携わりつつテネシー州立メンフィス大学に助手として勤務し、1997年にコミュニケーション学修士号を取得(映画専攻)。1999年、キャスト・クルーとも全てアメリカ人からなる長編映画「intersections」を制作・監督。翌2000年、Austin Film Festivalに入選。2003年、世界最大の脚本コンテストであるサンダンス・NHK国際映像作家賞の最優秀作品賞候補にノミネート。アメリカ長期滞在の経験を生かし、大学のテキストなど語学関連・オリジナルのコミュニケーションツールを軸としたビジネス書などの著書は22冊に及ぶ。(2023年1月現在)。2005年4月「みんなで映画する」ことを通して人々が楽しみ、まちが元気になる場と機会をつくり出そうと、「映画革命 HINAMI」を立ち上げた。

2006年には、「自分でゴールを決めて、仲間とともに楽しく工夫しながらやり抜き、感動を生む人になる」を理念とする私塾「六秒塾」(現在の「ひなみ塾」)を創設。小学校に入る前からの子どもから大人まで、誰でも一生学び続けられる理想の学校を目指し、全てのクラスを自ら教えている。(2023年現在約285名在籍) 2010年、映画づくりの輪を広げる「文化運動」としてのHINAMIと両輪をなす「芸術運動」の核として、プロジェクトMINIMAを開始。大予算映画の対極に位置する、あらゆる要素を最小限に抑えたミニマル映画の追求をライフワークとする。また2021年には、オンラインで制作が完結するプロジェクト、SOCIAを始動。HINAMI、MINIMA、SOCIA、Project_1の4つのプロジェクトで長編映画を制作し続けている。2023年には、長編映画の制作本数は60本を超え、各種プラットフォームでのオンライン配信もスタートした。